

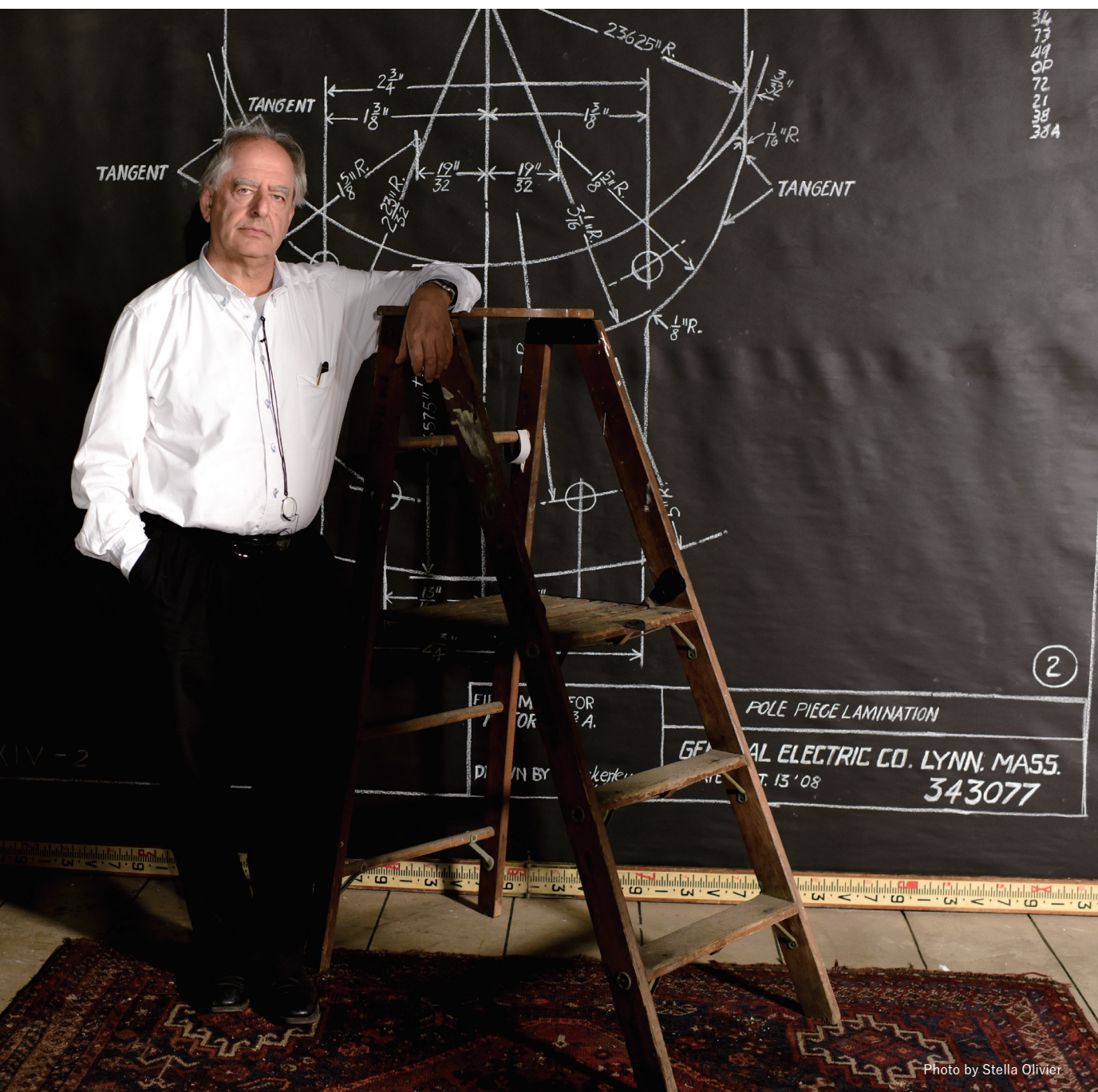


Photo by Stella Olivier

特集

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019 公式プログラム  
ウィリアム・ケントリッジ『冬の旅』 — 2P-5P

ミニ特集 KUNIO15『グリークス』 — 8P-9P

9～11月公演スケジュール — 10P-11P

春秋座オペラ10周年記念ガラコンサート — T・2P-T・5P



## KYOTO EXPERIMENT 2019

京都国際舞台芸術祭 Kyoto International Performing Arts Festival

### 公式プログラム シューベルト歌曲集『冬の旅』

ウィリアム・セントリッジ（演出・映像） マティアス・ゲルネ（バリトン） マルクス・ヒンターホイザー（ピアノ）

2019年10月18日（金） 19:00

会場：春秋座

原語上演（ドイツ語）・字幕なし 上演時間1時間18分

製作：エクサンプロヴァンス音楽祭

共同製作：ウィーン芸術週間、オランダ・フェスティバル、ヘレンハウゼン芸術祭（ハノーファー）、ニーダーザクセン音楽祭（ゲッティンゲン）、リンカーン・センター、ルクセンブルク市立劇場、リール歌劇場

主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター、KYOTO EXPERIMENT

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

●公演情報の詳細はスケジュール一覧（P.9）をご覧ください。

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019 10.5-10.27

主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会〔京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター〕





南アフリカ・ヨハネスブルグ出身の現代美術家ウィリアム・ケントリッジ  
によるドローイング・アニメーションが、世界最高峰のバリトン、  
ピアニストとともに立ち上げるシューベルト名作のコンサート。  
深奥で美しく、孤独な世界。

---

## プロフィール

---

### ウィリアム・ケントリッジ（演出・映像）

1955年生まれ。ドローイング、映像、オペラ作品などで世界的に知られた美術家。南アフリカのヨハネスブルグ生まれ。独特な作風は、植民地政策やアパルトヘイトをはじめとする母国南アフリカが置かれた社会的状況を、手法やジャンルを横断しながら視覚的な表現へと昇華することで生まれた。1990年代以降、世界中から大きな注目を集め、オペラ作品では、モーツァルト《魔笛》（2005年）、ショスタコーヴィチ《鼻》（2010年）、アルバン・ベルク《ルル》（2015年）および《ヴォツェック》（2017年）を手がける。2010年には京都賞を受賞。



---

### マティアス・ゲルネ（バリトン）

幅広い声の柔軟性を備えた才能ある声楽家のひとり。世界中のファンから称賛を集め、名高い音楽フェスティバルやコンサートホールの常連でもある。ワイマールに生まれ、ハンス＝ヨアヒム・バイヤー、エリザベト・シュヴァルツコップ、ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウらに師事。



---

### マルクス・ヒンターホイザー（ピアノ）

イタリアのラ・スペツィア生まれ。ソリストおよび室内楽のピアニストとして、世界の名だたるコンサートホールで公演を行う。2014年から2016年までウィーン芸術週間の芸術監督を務め、2016年10月からは、ザルツブルク音楽祭の芸術監督に就任している。



# 冬の旅——ウィーンからヨハネスブルグへ

喜多尾道冬

シューベルトの《冬の旅》は平たく言えばよくある失恋の内面風景である。にもかかわらず現在ますます演奏される機会が増えているのは、この歌曲集がたんなる失恋を超え、シューベルトが晩年に直面していた孤独と疎外の凝視にだれもが気づきはじめてからだ。

現代のわたしたちの避けられない「孤独死」、それを彼は200年前に洞察して、そのカルテを書こうとしていた。失恋は痛ましいが、孤独と疎外はそれにも増して人間の実存の根底をおびやかす、だれもがその危機にさらされている。

もちろん現在でも《冬の旅》は失恋の苦しみに寄りそうセラピーの役割を失っていない。しかしケントリッジ、ゲルネ、ヒンターホイザーによる映像付きの『冬の旅』は、現代のだれもが抱える孤独を直截に見つめ、新たな心象風景を切り開く画期的な試みとなっている。

演奏全体は舞台奥のスクリーンに、広報か求人求職の貼り紙か、無数の紙片を貼りつけた壁を映し出し、それを背景にケントリッジの殴り書きのようなスケッチが「動くドローイング」として繰り広げられてゆく。これまでにない斬新な手法だ。

まず暗闇のなかに1本の樹が浮かぶ。ついでウィーンの古地図が映し出され、それが現代の南アフリカのヨハネスブルクの市街図にスライドする。19世紀からいきなり21世

紀へと、200年を一挙にワープする転換は衝撃的だ。この都市はケントリッジの出身地でもあり、衛生、貧困、治安などに問題を抱え、失業率は50パーセントを超える最悪の都市のひとつに数えられている。

冒頭の〈おやすみ〉では失恋に憔悴する若者に代わって、失業中のくたびれた中年男が映し出され、ゲルネの舞台姿と重なる。つづく〈風見〉は赤十字のマークを胸につけた看護師が緊急の救助を求めて振る手旗信号に読み替えられる。なんの救援信号か。

各曲の題名は独英仏語で表示されるが、それ以外に〈氷結〉では「彼女の不在」という言葉が英語で表示され、舞う紙片が「彼女」の顔になったり消えたり。こんな中年男にもはかない愛の体験があったことを示唆する。

〈ぼだい樹〉で樹を揺らす強風は「森のなかの榴散弾」として暗闇のなかで飛散する閃光と化し、突き刺す痛みが視覚的に強調される。そして出口のない中年男の閉塞感、金魚鉢の小魚に暗示され、それをたとえ掌に受け出しても干上がるばかりはない。

〈雪融けの水流〉は工場の汚染水、じめじめしたシャワーや蛇口など、裏ざびれた都市のたたずまいを浮かばせ、〈凍った川〉では独房のようなわびしい部屋と水たまりにひたる「彼女」を映し出す。「彼女」のそん

な惨めな姿を空想して自己満足にひたろうとするのか。しかし〈休息〉で脳のスキャンから裸の女を抱きしめる願望が浮かび、「彼女」への断ちがたい本心があらわになる。

〈郵便馬車〉では映画『E.T.』の夜空を駆ける自転車のシルエットが、「どこからもニュースなし」の表示とともに男の宙に浮いた孤立感を印象づける。

『冬の旅』の前半はこう推移する。ただ紙幅にかぎりがり、また鑑賞者の自由な想像力を妨げないようこれ以上こまかな解釈は避け、ひとつのキーワードを指摘するにとどめた。それは第6曲〈雪融けの水流〉の英訳「Overflow Riverrun」と記された小さな紙片が各曲にテロップのように貼りついていること。中年男の心の底に溜まったデプレッションの洪水がいたるところにあふれ出している暗示だろうか。

最後の〈辻音楽師〉では「この先にながあるのか」という表示とともに、黒人のパレードがシルエットであられる。ダンスしたり、荷物を担いだり、手をつなぎ合ったり。撮影機を操作する男、映写機をまわす女も。かつてアパルトヘイトに苦しんだ黒人たちにちがいない。

彼らにどんな未来が待ち受けているのか。19世紀のウィーンと現代のヨハネスブルクは、時代と場所は遠く隔たっていても差別や疎外におどろくほど差はない。落魄した白人





Festival d'Aix-en-Provence 2014 © P.Berger/artcomart

の中年男もその仲間になって現代の新しい《冬の旅》の行方を示唆する…。

演奏については、ゲルネはF=ディースカウ後のドイツ・リート演奏界をリードし、シューマンの女声用歌曲集《女の愛と生涯》を演奏する大胆さなど前衛的なプレゼンス力を誇り、ヒンターホイザーはザルツブルク音楽祭の総監督を務めながら現代音楽の卓越したピアニストとして知られている。

ゲルネは孤独と疎外を凝視しながらも、渋みと含蓄のある声でそのなかに希望のよすがを見出そうとする忍耐力を失わない。ピアノはよくある抒情や感傷を排し、シューベルトの音楽の現代に通ずる深い地層を掘り起こす。そしてデプレッションの効いたタッチで、ゲルネとともにケントリッジの映像に沿いながら、聴覚だけでなく視覚も加えた複合的なアプローチで《冬の旅》の現代の最

先端の心象風景を切り開いてゆく。このプロジェクトは今後の《冬の旅》の新たなマイルストーンとなるまさに画期的なフェノメノンというほかはない。

### 喜多尾道冬 (きたおみちふゆ)

東京大学大学院修士卒。ドイツ文学専攻。中央大学名誉教授。芸術全般の形象研究に従事。著書に『フェルメール』（講談社）、『気球の夢』『シューベルト』（朝日新聞社）、『ムーサの贈り物』4部作、『音楽の悪魔』（音楽之友社）など。目下「レコード芸術」「モーストリー・クラシック」誌などに寄稿。

### 《冬の旅》全24曲

- 第1曲 〈おやすみ〉
- 第2曲 〈風見〉
- 第3曲 〈凍った涙〉
- 第4曲 〈氷結〉
- 第5曲 〈ぼだい樹〉
- 第6曲 〈雪融けの水流〉
- 第7曲 〈凍った川で〉
- 第8曲 〈かえりみ〉
- 第9曲 〈鬼火〉
- 第10曲 〈休息〉
- 第11曲 〈春の夢〉
- 第12曲 〈孤独〉
- 第13曲 〈郵便馬車〉
- 第14曲 〈霜おく頭〉
- 第15曲 〈からす〉
- 第16曲 〈最後の希望〉
- 第17曲 〈村で〉
- 第18曲 〈あらしの朝〉
- 第19曲 〈まぼろし〉
- 第20曲 〈道しるべ〉
- 第21曲 〈宿〉
- 第22曲 〈勇氣〉
- 第23曲 〈幻の太陽〉
- 第24曲 〈辻音楽師〉

## 女優・北翔海莉の魅力

初めて北翔海莉の舞台を見たのは彼女が宙組にいた頃でした。その後、『マリーアントワネット』『恐怖時代』『多神教』、ミュージカル『ふたり阿国』、それぞれ再演もされるなど、数々の作品で一緒にさせて頂きました。

彼女の魅力の一つは、どんなジャンルの作品も自分の中に落とし込み、自らの光として輝きを放つ事。元宝塚とはいえ、私の演出作品や振付作品は、歌舞伎や日本舞踊の古典の手法を基本としている為、女優さんにはかなり大変な舞台だと思います。しかし、彼女が作り出す世界は、歌舞伎役者ともまた女役者とも違う、独自の世界です。

今度、私の演出で更に歌舞伎に近い、河竹新七作の『怪談牡丹燈籠』に出演してくれますが、そこでまた新たな一面をみせてくれると私は確信しています。そんな彼女の演じる『海の上のピアニスト』は、宝塚を退団以来私がずっと見てきた彼女の演じる和物とは違う、おそらく皆様の方が見なれている洋物です。彼

女の演技力、歌唱力等は、私が言うまでもありません。しかしそれらは、一流の女優としては当たり前の素養です。見るべきものは、彼女の内面から出てくる芸と言う名の「生き様」です。ファンのみならず、多くの人々に彼女のそれを見て頂きたい。様々な魅力の詰まった女優北翔海莉の舞台、演劇を愛する人にとっても、また、北翔海莉のファンにとっても、これほど楽しいことはないと思います。



**藤間勘十郎**

舞踊家・振付師

祖父・六世藤間勘十郎と母・藤間勘祖のもと、舞踊家、振付師となるべく研鑽を重ね、高校卒業後歌舞伎舞踊の振付や演出を担当すると共に、若手俳優の舞踊の指導・育成に務める。また苦舟（作曲・筆名）の名前で数々の新作を発表している。平成十四年八世宗家藤間勘十郎襲名。平成一五年第五十八回芸術選奨文部科学大臣賞新人賞受賞、平成二十四年第三回創造する伝統賞受賞。平成三十一年第四十回松尾芸能賞優秀賞受賞。自身の舞踊活動と共に振付・演出等も意欲的に活動している。

### CLIP

## 井上安寿子さんが平成30年度(第69回)文化庁芸術選奨を受賞

芸術各分野で優れた業績を挙げた人物、または新生面を開いた人物を表彰する平成30年度(第69回)文化庁芸術選奨において、京都造形芸術大学 舞台芸術学科卒業生であり、同舞台芸術学科非常勤講師の京舞井上流・井上安寿子さんが、舞踊部門 文部科学大臣新人賞を受賞されました。おめでとうございます。

### BOOK

## 『仮面の道』刊行(ちくま学芸文庫)

構造人類学の視点から、北太平洋西岸の原住民が伝承する仮面に反映された神話世界をラディカルな理論で切りひらいたクロード・レヴィ=ストロースによる著書を、舞台芸術研究センター前所長・渡邊守章、1970～90年代にかけて日本の構造主義人類学を牽引した山口昌男、文化人類学者で元立命館大学副学長の渡辺公三(要職に在りながら渡邊守章の要請に応え本書の増補改訂部分を翻訳。作業を終えるや急逝)らの翻訳による新刊。第二部「三つの小さな旅」は本邦初訳で収録した完全版。

クロード・レヴィ=ストロース／著 山口昌男・渡邊守章・渡辺公三／翻訳  
文庫版 400頁 1400円(税別)



## KYOTO EXPERIMENT 10周年によせて

京都に現代舞台芸術の国際的なフェスティバルが設立されるとのニュースを聞いたとき感じた晴れがましさを、今も鮮明におぼえています。そのときすでにわたしたちチェルフィッチュは、ヨーロッパを中心に、そうした国際フェスティバルの開催都市を毎年春や秋は平均して三つから四つ、多い年には十都市近く回るツアーをするという活動の仕方をしていました。そしてその頃のわたしは、そういったフェスティバルは海外（主にヨーロッパ）のものだと、どこかすっかり思いこんでいたように思います。ですから国内の都市、しかも京都でそれが始めると聞いて、驚き、興奮したのです。2010年の記念すべき第一回に、わたしたちも参加して、ART COMPLEX 1928 で『ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶』を上演しました。その日々の楽しかったこと。ヨーロッパだからこそと思っていたフェスティバルの国際的で、オープンでフランクで、ちょっぴりアゲアゲな雰囲気が、京都に生み出されよう

としているのを肌で感じたのです。それ以来、KYOTO EXPERIMENT には継続され、すっかり定着しています。独自のプログラムを打ち出して、屹立しています。わたしたちも何度も参加させてもらってきています。KYOTO EXPERIMENT は新しい試みをし続けていこうとするアーティストの意欲とぴったりに伴走してくれるフェスティバルだと、わたしは心から感じています。

定評の維持よりも、次の実験的一步を踏み出すことに関心を持っているフェスティバルなのです。KYOTO EXPERIMENT という名に、少しも恥じないことを実践している。それが今年で10回目の開催になります。春秋座も会場の一つになります。わたしたちも十月のはじめに、新作の世界初演をKYOTO EXPERIMENTで行います。その作品においてわたしたちは、かなり新しい一步を踏み出すつもりです。KYOTO EXPERIMENTの実験精神に負けないよう。



写真：宇壽山貴久子

### 岡田利規

演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰  
1973年横浜生まれ、熊本在住。従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。主な受賞歴は、『三月の5日間』にて第49回岸田國士戯曲賞、小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』にて第2回大江健三郎賞。主な著書に『遊行 変形していくための演劇論』、『現在地』（ともに河出書房新社）などがある。2016年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピーレのレパートリー作品の演出を4シーズンにわたって務めている。

## CLIP

### 藤間勘十郎さん第40回松尾芸能賞 優秀賞受賞

祖父・宗家藤間流六世宗家と母・七世宗家のもとで研鑽を重ね、日本舞踊家、また歌舞伎舞踊の振付師として時代を担う藤間勘十郎さんが、第40回松尾芸能賞優秀賞を受賞されました。受賞の理由として、谷崎潤一郎原作「恐怖時代」（春秋座、東京・三越劇場）を巧みな脚本・演出で見事に舞踊化し、「凄艶四谷怪談」（春秋座＝写真）の舞踊化では構成演出と5役で出演。その多芸多才な活躍が21世紀日本舞踊の豊かな可能性を展望させると評価されました。



「凄艶四谷怪談」勘十郎のお岩（2018年12月春秋座）▶

9 8日(日) 14:00

春秋座

第四回フォーラム

## 猿翁アーカイブにみる三代目市川猿之助の世界

京都造形芸術大学副学長を務め、春秋座初代芸術監督でもあった三代目市川猿之助（現・市川猿翁）から寄贈された資料をもとに、氏の軌跡を振り返るフォーラム。今回は「創造」と「想像」をテーマに取り上げます。

【ゲスト】石川耕士（脚本家・演出家）、横内謙介（脚本家・演出家）

【企画】田口章子（京都造形芸術大学教授）

【申込制・無料】定員に達したため受付は終了いたしました。追加応募につきましては劇場HPにて発表いたします。

9 21日(土) 13:00 / 16:30 (2回公演)

春秋座

## 春秋座オペラ10周年記念 ガラコンサート

特集▶P.T2

【全席指定・発売中】※未就学児童の入場はご遠慮ください。

S席 一般 6500円 友の会 6000円

A席 一般 5000円 友の会 4500円

学生&ユース席 2000円（座席範囲指定）

T-C OTS e+ ぴあ 生協

託児サービス 申込み期間：～9月13日(金) 17時

9 27日(金) 18:00、28日(土) 16:30、  
29日(日) 13:30

春秋座

## 立川志の輔独演会

毎年恒例、完売必至の名物公演。今年も極上の演目をご堪能ください。 【出演】立川志の輔、ほか

《一般席完売》

追加販売等につきましてはお問い合わせ下さい。

T-C OTS

託児サービス 申込み期間：～9月20日(金) 17時 (29日のみ)

10 18日(金) 19:00

春秋座

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019

## 『冬の旅』

特集▶P.2

演出・映像：ウィリアム・ケントリッジ

バリトン：マティアス・ゲルネ

ピアノ：マルクス・ヒンターホイザー

【全席指定・発売中】

一般 5000円 友の会 4500円 学生&ユース 3000円

高校生以下 1000円 ペア(前売りのみ) 9500円

26日(土) 16:00、27日(日) 16:00

春秋座

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019

## 『変則のファンタジー\_韓国版』 サイレン・チョン・ウニョン

【全席指定・発売中】

一般 3500円 友の会 3000円 学生&ユース 3000円

高校生以下 1000円 ペア(前売りのみ) 6500円

27日(日)はポストトークあり。

KYOTO EXPERIMENT のチケットについて

当日券は +500円 (高校生以下は前売り料金と同額)

他の公式プログラムと合わせられるお得なセット券あり

(セット券取り扱い：KYOTO EXPERIMENT チケットセンターのみ)

T-C OTS e+ ぴあ

KYOTO EXPERIMENT チケットセンター tel.075-213-0820

18日(金)、27日(日)は託児サービスあり。

詳しくは KYOTO EXPERIMENT 事務局 (tel.075-213-5839

平日 11:00-19:00)へお問合せください。

託児サービス 料金：お子様1名につき1500円 対象：生後6ヶ月以上7歳未満  
予約・お問合せ：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター  
Tel:075-791-9207 (平日 10-17時)

チケットお問合せ先

## 京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業：平日 10:00-17:00・公演開催日

## 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

http://www.k-pac.org 京都芸術劇場

検索

## 京都芸術劇場友の会 会員募集中!

詳しくは http://k-pac.org/?page\_id=33

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア

e+ イープラスー https://eplus.jp

ぴあ チケットぴあー https://t.pia.jp tel.0570-02-9999

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

KBS KBS 京都事業部

tel.075-431-8300 (電話のみ 10-17時 ※土・日・祝除く)

\*記載のないものについての開場は開演 30 分前

\*特に表記のない場合、前売と当日は同じ料金

\*ユースは 25 歳以下対象 (一部公演を除く)

\*学生・ユースは要身分証明書提示

カーテンコール

今号は大特集 2 本の他に『グリークス』のミニインタビューも収録。劇場HPにロングバージョンも掲載する予定です。ぜひHPも併せてご覧ください。(S)

11 2日(土) 12:00 / 16:00 (2回公演)

春秋座

作:アレッサンドロ・バリッコ / 訳:草皆伸子(白水社刊)

## 海の上のピアニスト

豪華客船の中で生まれ、生涯一度も船を降りることがなかった天才ピアニストの伝説を描いたイタリア文学の名作。映画でも大ヒットをとげたこの作品を昨年、音楽ドラマとして舞台化し東京で初演。大好評につき再演が決定しました！元宝塚歌劇団トップスター北翔海莉と鍵盤の貴公子・大井健が融合してピアニスト役を演じ、珠玉の楽曲を生み出した中村匡宏が親友のトランペッター役を務めます。



北翔海莉



中村匡宏・大井健(鍵盤男子)

【全席指定】※未就学児童の入場はご遠慮ください。

一般発売8月28日(水)、友の会先行発売8月27日(火) 10:00

一般 8500円 友の会 7500円

学生&amp;ユース席 3500円(座席範囲指定)

T-C OTS e+ ぴあ 生協

託児サービス 申込み期間: ~10月25日(金) 17時

11 10日(日) 11:00

春秋座

KUNIO15

特集▶PT6

## 『グリークス』

【全席指定】※未就学児童の入場はご遠慮ください。

一般発売8月2日(金)、友の会先行発売8月1日(木) 10:00

一般 7000円 友の会 6000円

学生&amp;ユース 3000円

T-C OTS e+ ぴあ 生協

## 2019年度 公開連続講座

## 「日本芸能史」～女性と芸能

後 期(全14回) 9月23日(月)～12月23日(月)

毎 回: 月曜日 16:30～17:50

受講料各期: 1万5千円

会 場: 京都芸術劇場春秋座(京都造形芸術大学内)

総 論 女性と演技 諏訪春雄

長 唄 今藤政太郎

常磐津 常磐津都毬蔵・常磐津都史

神 楽 小林泰三

講 談 神田松之丞

能 片山九郎右衛門

綾切の舞 大阪楽所、解説: 木戸敏郎

王権と女性 諏訪春雄

日本舞踊 坂東温子

狂 言 茂山忠三郎

京 舞 井上八千代

女義太夫 鶴澤津賀寿、竹本京之助、聞き手: 田口章子

からくり 山田和人

乙女文楽 ひとみ座

【お問合せ・資料請求先】

京都芸術劇場チケットセンター tel.075-791-8240

## アクセス

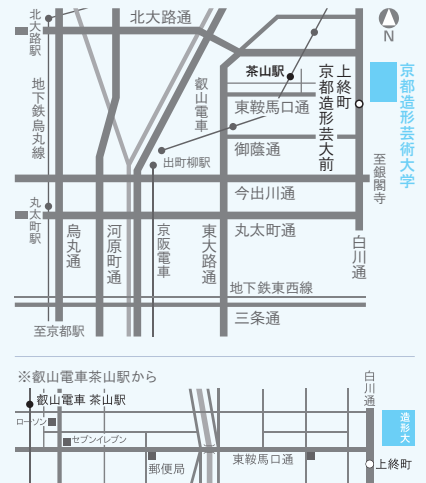
- JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から  
京都市バス5系統「岩倉」行きに乗車、「上終町京都造形芸大前」下車  
(「京都」駅から約50分、「三条」・「河原町」駅から約30分)
- 京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路バスターミナル)から  
京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗車、  
「上終町京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電車「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩約10分
- タクシーご利用の場合、「京都」駅から約30分。地下鉄「今出川」駅から約15分  
(「京都」～「今出川」は地下鉄で約10分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。  
※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

発行日・2019年8月1日

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
デザイン…吉羽 一之 (Simple Hope Design Room)

京都芸術劇場ニュースレター vol.44







京  
都  
芸  
術  
劇  
場  
ニ  
ュ  
ー  
ス  
レ  
タ  
ー

shunjuza  
studio21  
Newsletter

特  
集

×OTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019  
公式プログラム

ウィリアム・ケントリッジ『冬の旅』

春秋座オペラ10周年記念ガラコンサート

—  
T・2P  
—  
T・5P

vol  
.44  
2019.7





# 春秋座オペラ 10周年記念ガラコンサート

今年、春秋座オペラは10周年を記念して、今まで上演した作品の中から選りすぐりの名曲・ソリストをラインナップしたガラコンサートをお届けします。中でもソプラノ歌手の川越塔子さんは春秋座オペラ初回から7回ご出演いただいた最多出演歌手。公演に先立ち、春秋座オペラの思い出や今回の聴きどころ・見どころなどについて、お話を伺いました。

2019年9月21日(土) 13:00／16:30 (2回公演)

会 場：春秋座

出 演：ソプラノ 稲森慈恵／江口ニ美／川越塔子／高嶋優羽／並河寿美  
西田真由子／三輪千賀

メゾ・ソプラノ 岡村彬子

テノール 井藤航太／苗田博昭 (16:30 公演のみ)／村上敏明 (13:00 公演のみ)  
山本欽也

バリトン 奥村哲／片桐直樹／鶴川勝也

演 奏：京都フィルハーモニー室内合奏団

指 揮：奥村哲也

●公演情報の詳細はスケジュール一覧〈P.8〉をご覧ください。

— 川越さんは春秋座オペラ9作品のうち『月の影』と『カルメン』を除いた7作品にご出演いただいておりますが、第1回目は覚えておられますか？

川越 はい。春秋座のことを知らずに来たので、劇場を見てびっくりしました。「歌舞伎小屋だ！」「花道を通りたい」って（笑）。

— 『夕鶴』では花道を使いませんでしたからね。あの時は和の空間で回り舞台やセリなど舞台機構は使わずに日本のオペラを上演するというコンセプトでしたね。

— 川越さんにとって7作品の中で、どれが一番思い出深いですか？

川越 なんといっても『蝶々夫人』ですね。蝶々さんを初めてさせていただいたのが春秋座だったんです。

— その時は花道を使いましたね。

川越 はい。芸者さん達を引き連れて花道を歩きましたね。

— そして七三（本舞台の3分ほど手前の位置。歌舞伎などの花道での演技はここを中心に行われる）で歌を歌うという、通常のオペラではありえない演出でした。

川越 私、日本舞踊を勉強しているのもあって、歌舞伎も好きで、よく観に行くんです。ですから花道を歩いて七三で歌うなんて、うわ！これ、おいしい！どこ見て歌えばいいんだろうって、本当に楽しかったです。

— 『蝶々夫人』は2回（2013、2018年）上演していますが、それぞれ美術も違って、2018年版では花道を使わず、舞台に高い橋掛か

りのようなものを作ったんですね。

川越 そうですね。蝶々さんと芸者衆は、初演では花道から登場し、2018年版では橋掛かりから登場しました。

— 衣装も初回は着物でしたが、2回目はドレスだったんですね。

川越 そうでした。それも初めてのことです。2013年以降、何度か蝶々さんを演じさせていただく機会があったのですが全て着物だったんです。ですから着物を着た所作が身に付いてしまっていて、ドレスだとどういう動きをしづらいんだろう？となりました。着物とドレスでは立ち振る舞いが変わりますからね。でも、それもまた新たな経験でした。

— 所作といえば所作指導に1回目は飛鳥左近さんに入っていたけど、2回目では京都造形芸術大学の卒業生で舞踊家の井上安寿子さんにも入っていたかったです。オペラで和物を上演する場合は所作指導が必須なんですね。

川越 そうなんです。まずドレスの時とは歩き方から違いますからね。私たちだけでは、どこが間違っているのか分からないので、通常、日本舞踊の先生など、どなたかが必ず指導に入ってくださいます。

飛鳥左近さんには花の撒き方から立ち座りまで全部教えていただきました。昨年は、芸者衆の皆さんは若い歌い手さんたちが多くて、着物どころか浴衣も来たことがありません！という感じだったので（笑）、着物の着方、歩き方から芸者さんなので着物の裾を手に持って歩く所作まで教えていただきました。

— そうですね。教えていただかないと芸者さんな

どは裾の持ち方が逆になってしまったりしたら変ですね。

川越 そうそうそう。ですから海外で『蝶々夫人』を見ると、びっくりすることが沢山あります（笑）。

逆にいうと日本で上演する時は、私たちが着物や所作について分からなくても、お客様の目が肥えていらっしゃるの、お気づきになりますよね。ですからそこは気を引き締めていかないと、と思います。

もうね、思い出を語りだすとキリがないのですが（笑）、廻り舞台にも、さんざん乗せていただきましたね。



蝶々夫人（2018年）



― 廻り舞台は『椿姫』の時にも使いましたね。

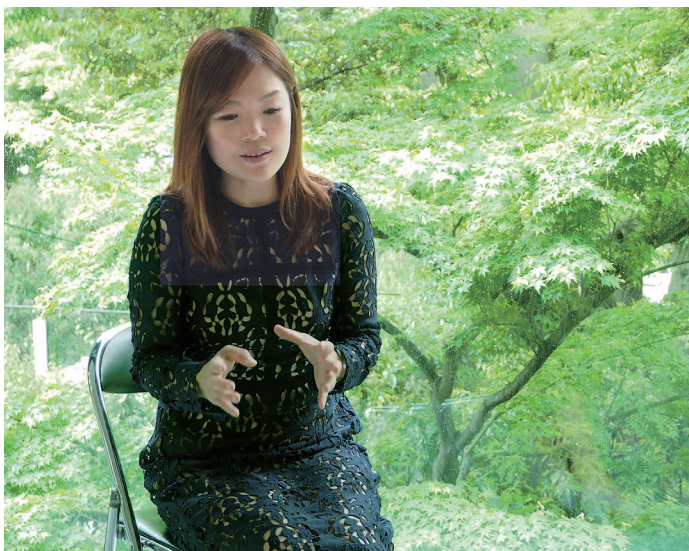
**川越** あの時、かなり高速で回りましたね。

― 『椿姫』では舞台美術を使わず、スクリーンに映像を映して場面を表現するという画期的な手法を試みた作品でした。廻り舞台で歌うのは難しいですか？

**川越** 私、運動神経が悪いんで回っている舞台上に乗るとか、降りるとかが難しいんです（笑）。

― 『魔笛』では歌いながら回りましたね。

**川越** そうでしたね。1回目の『夕鶴』の時は、まさかこんなに長く春秋座オペラに出演させていただけるとは予想していなかったので、2回目の『ラ・ボエーム』の方が私の中で、春秋座オペラに初めて出演



したという印象がありますね。

関西の歌い手さんと歌うということで関西へお稽古にも来させていただきましたし、稽古期間も夏だったので、ものすごく暑いのに「寒い、寒い」という芝居をしていたのが思い出深いです。

**オペラはミュージカルの祖先！**

**お芝居としてのオペラも楽しむ**

― ところでオペラを観たことが無い方の中には、オペラというとりサイタルやコンサートなどのイメージが強いと思うのですが、オペラって実はお芝居なんですよ。

**川越** それ、よくいわれます！「胸の前で手を組んで歌うんですよ」って。観たことが無い方はご存知ないですね。

きれいなドレスを来た人がツカツカツカ出てきて、歌います！っていうイメージですよ（笑）。

― そうなんです。

**川越** ですから私も初めて観る方にご説明するんですが、オペラはミュージカルの祖先なんですよ、ミュージカルのクラシック版なんですよって。

― そういう意味では、今回はお芝居という目線でも楽しめる趣向になっていますね。

**川越** そうですね。じっと立って歌うのではなく、少し動きも入るので、どういう場面で歌われているのか雰囲気が分かると思います。

― 今回、川越さんは、どの曲をお歌いになるのでしょうか。

**川越** 『椿姫』から「ああそは彼の人かく花から花へ」、「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」、「魔笛」から夜の女王のアリアを歌います。

― どれも過去に演じられた役ですね。

**川越** ご存知の方は分かっていただけではないかと思うのですが、蝶々さんと夜の女王を同じ舞台で歌うというのは殺人的なこととして（笑）。お話があった時、夜の女王はなあ…と思ったのですが（笑）。

― でも、聴く方からしたら全く違うキャラクターの曲が聴ける方が面白いですね。

**川越** そうですよ。あれ、さっきの人？ ってるわけでもなんね。1つの作品を2、3時間観るのも楽しいですが、次々と世界がくるくる変わっていくのを観るのも楽しいと思いますよ。

**日本オペラのスーパースターが多数出演！**

**美味しいとこ取りのガラコンサート**

― ところで今回のガラコンサートの醍醐味について教えていただきたいのですが。

**川越** コンサートの場合だとピアノ伴奏が多いですが、オケが入ると、ある程度ホールも大きくないとできませんしね。私もオケが入ったガラコンサートって人生で3回ぐらいしかないです。

普段オペラ公演の際はオーケストラピットに入っているオケの方々が、今回はガラコンサートということでステージ上で演奏されます。オケと歌手が同じ位置にいることになります。

そして、実は指揮者の方は歌手と一緒にすごく呼吸を

してくださるんですよ。歌手の呼吸を指揮者が感じ、それがオケにも伝わる。そういう息の合わせ方というのが今回、見られると思うので、それを観るのも大変面白いと思います。

―― 全員が一緒に呼吸をするんですね。

川越 一緒に呼吸をしてくれないと、こっちもウツてつまってしまうので（笑）。こちらの呼吸を感じて息を合わせてくださるんです。全員が一斉に息を吸って吐く。それをなんとなく感じてもらえるのではないかと思います。

―― それによって一斉に音が出るんですもんね。一気に客席に音が来る醍醐味が味わえるわけですね。

川越 しかも「春秋座オペラ」はいままで、まぎれもない名作を集めて上演しているの、そもそも春秋座オペラ自体がオペラのベスト版なわけです。

さらに、そのベスト版の中から名曲を選んでるので、オペラを知っている人なら「あれのあれね」と分かりますし、オペラを観たことがなくても知っている曲がいくつも出てきます。これは美味しいところ取りのコンサートですね。

しかも「春秋座オペラ」10年間に登場した沢山のスター歌手が一堂に集まります。こういう機会は、なかなかないですし、関西で活躍されている歌い手さんのもとより、普段は関西で歌わない東京で活動されている歌手の方も沢山きますので、ぜひ、聴いていただきたいなと思います。

## 春秋座オペラ 10周年記念ガラコンサート曲目

|               |                                                 |
|---------------|-------------------------------------------------|
| 『椿 姫』より       | ああ そは彼の人か〜花から花へ、乾杯の歌                            |
| 『セヴィリアの理髪師』より | 俺は町の何でも屋、今の歌声は                                  |
| 『ラ・ボエーム』より    | 冷たき手を、私の名はミミ、幸せだったあの場所に戻ります、もう本当に終わってしまったの（4重唱） |
| 『魔 笛』より       | 燃立つ復讐の炎、ああ消え去った恋の幸せ、パパパ（2重唱）                    |
| 『蝶々夫人』より      | ある晴れた日に、さらば愛の家よ                                 |
| 『カルメン』より      | 恋は野の鳥（ハバネラ）、闘牛士の歌、うまい話があるぞ（5重唱）、花の歌             |

※曲目は変更となる場合がございます。

## 春秋座オペラ上演作品

|       |            |            |       |               |               |
|-------|------------|------------|-------|---------------|---------------|
| 2010年 | 團伊玖磨作曲     | 歌劇『夕鶴』     | 2015年 | G. ロッシーニ作曲    | 歌劇『セヴィリアの理髪師』 |
| 2011年 | G. プッチーニ作曲 | 歌劇『ラ・ボエーム』 | 2016年 | G. ビゼー作曲      | 歌劇『カルメン』      |
| 2012年 | 尾上和彦作曲     | 歌劇『月の影』    | 2017年 | W.A. モーツァルト作曲 | 歌劇『魔笛』        |
| 2013年 | G. プッチーニ作曲 | 歌劇『蝶々夫人』   | 2018年 | G. プッチーニ作曲    | 歌劇『蝶々夫人』      |
| 2014年 | G. ヴェルディ作曲 | 歌劇『椿姫』     |       |               |               |



ラ・ボエーム (2011年)



カルメン (2016年)





## ギリシャ悲劇はダンスや音楽、怒りに涙、 笑いが詰まった、一大エンターテインメント!

1980年にイギリスで初演された、10本のギリシャ悲劇をひとつの物語に再構成した長編戯曲『グリークス』。全三部構成で、上演すると10時間にも及ぶ超大作です。昨年『オイディプス REXXX』で初めてギリシャ悲劇に挑戦した演出家の杉原邦生（KUNIO 主宰）が“いま、この時代に上演すること”をテーマに取り組み続けている新翻訳戯曲で挑みます。

稽古に入ったばかりの5月下旬。出演者の安藤玉恵さんと杉原邦生の対談の行いました。

## KUNIO15 『グリークス』

俳優 安藤玉恵 × 演出家 杉原邦生

【編・英訳】  
ジョン・バートン、ケネス・カヴァンダー  
【演出・美術】 杉原邦生  
【翻訳】 小澤英実  
【出演】 天宮良 安藤玉恵  
本多麻紀 武田暁  
石村みか 箱田暁史  
田中佑弥 渡邊りょう  
藤井映有里 福原冠  
森田真和 池浦さだ夢  
土居志央梨 河村若菜  
毛利悟巳 森口彩乃  
井上夕貴 永井茉莉奈  
中坂弥樹 尾尻征大  
井上向日葵  
松永玲子 外山誠二  
小田豊 ほか

安藤玉恵 俳優

1976年生まれ、東京都出身。早稲田大学卒。三浦大輔の劇団ポッドール出身。近年は、岩松了作・演出『結びの庭』、宮藤官九郎演出『ロミオとジュリエット』、今夏は、松尾スズキ氏との二人芝居、東京成人演劇部＜KON＞「命、ギガ長ス」(作・演出・松尾スズキ)に出演。

杉原邦生

演出家、舞台美術家。KUNIO 主宰

1982年生まれ、東京都出身。KUNIO 主宰。京都造形芸術大学在籍中より演出家・舞台美術家として活動をはじめ。代表作はKUNIO 二『ハムレット』(作・シェイクスピア)、木ノ下歌舞伎『黒塚』『勸進帳』など。今秋にはスパー歌舞伎II『新版オグリ』の演出も控えている。

出会いは春秋座

杉原 僕、学生時代から安藤さんのファンだったんですよ。当時、安藤さんが所属なさっていた劇団、ポッドールの公演を観て、すごい女優さんがいる！ってファンになって、それで、

安藤 2006年に京都造形芸術大学舞台芸術研究センターが主催されたリチャード・フォアマンのワークショップに私が参加した時、

杉原 春秋座の裏で挨拶させてもらっただけですよ。もう、ドキドキしながら、

安藤 そうでしたね。

杉原 その翌年、僕の初めての東京公演、木ノ下歌舞伎『Yotsuyekaidan』(2007年一ツまばアゴラ劇場)を観に来てくださったんですよ。

安藤 当時、学生さんでしたけれど意欲的で、いずれきっと東京で活躍するんだらうなと思いました。

杉原 本当ですか！それは嬉しい。

この世は多様性でできている

杉原 今回のキャストは安藤さんをはじめ、天宮良さんや小田豊さん、『グリークス』の日本初演に出いらした文学座の外山誠二さん、そしてオーディションで決まったフレッシュな顔まで、色々なタイプの役者さんに出演

していただいています。

僕はキャストを選ぶときに多様性を持たせることが好きなんです。世界って同じような出自や性質の人ばかりじゃないから、いろいろな役者がいる方が、作品世界も広がる気がして。それに、この作品にはそういうキャストینگが合っているような気がしています。

**安藤** 何人ぐらいオーディションからの方がいらっしゃるんですか？

**杉原** 5人です。

**安藤** その他の若手の方は？

**杉原** オファアを出していて、永井茉莉奈さんは僕の造形大での教え子。卒業後、新国立劇場の養成所に入って、3月に修了したばかりなのですが、声をかけさせてもらって。井上向日葵さんも造形大を卒業したばかりですしね。

**安藤** すると20代前半。

**杉原** そうですね。

**安藤** うわー、もう娘、息子といってもいい年ですね（笑）。私、完全にお母さん感が出てますよ（笑）。

## ギリシヤ悲劇は一大エンターテイメント

**杉原** ギリシヤ悲劇というと、どうしても重厚で難しいというイメージがあ

ると思うのですが、そもそも演劇祭で競って上演されたものなんですね。当時、悲劇は市民の娯楽の中心としてあった。だから、ギリシヤ悲劇の中には歌や踊り、つまり、音楽コンサートやダンス公演のようなエンターテイメント要素も全て入っているし、悲劇としての怒りや憎しみ、悲しみや涙の中に、当然笑いの要素もある。ギリシヤ悲劇を「一大エンターテイメント」と僕は思ってるんです。

**安藤** まだ、お稽古が始まったばかりですが、『グリークス』の台本を読んでいる自分の中のフェミニズム的な感情に気付かされて、「今」この戯曲をやる意味を考えたりしたんです。私の実感でいうと今も男女差別はあるけれど、この10年で少しは女の人の立ち位置って変わったのかなあという気もするんですが、その辺、いかがですか？

**杉原** 僕が『グリークス』を初めて読んだ時、女性の視点がこの作品にとつて、とても大事だと思ったんです。出てくる男性たちって、みんな弱ちくて、くだらなくて、すごくバカバカしい。だって、戦争しているのにずっと女の取り合いとかしていて、

**安藤** 確かに（笑）。

**杉原** 一方で女性は差別もされている

けれどタフで知的で生命力がある。結局、男性が女性に振り回されているようにも見える。作中、世界創造の神話が二つ語られますけど、どちらも女性が世界の起源なんです。母なる海じゃないけれど、女性の存在の豊かさですよ。そういうことをとてこの戯曲から感じたいです。だから翻訳は女性の方にお願ひしたいと思ったんですよ。

**安藤** ああー、だから。

**杉原** 小澤英実さんをお願いしました。この本の中には常に神と人間、男と女というふうに対になるもの同士が、互いに常に影響しあって存在しているという構造が明確にある。それが面白いと思ったので、その部分をきちんと見せていきたいなと思っています。

**安藤** ここでは神でさえ男神と女神という性別があるんですもんね。

**杉原** そうですね。

## ピクニック気分で10時間

**安藤** でもね、なにより10時間ということ、もう、すごいやる気ですから！『東海道四谷怪談―通し上演―』も6時間上演でしたけれど、あの時は、おにぎり3つぐらいに水筒も持って覚悟して観に行きました。でも6時間という長さを全く感じませんでした。

それぐらい楽しみました。

**杉原** ピクニックみたいな感じですね。

**安藤** そうそう。この楽しみてなんだろうと思いました。10時間の芝居って、演じるのも観るのも、めったに体験できないことですよ。一生に一度あるかないか。だから喫茶店とかで、「あの10時間芝居、観ました！」といわれたら、その方とすぐ友達になれる気がする（笑）。

**杉原** 客席と舞台との一体感はどういう作品でしか得られない独特の祝祭感がありますね。僕はお祭り好きが高じて演劇を始めているので、そこが長尺物の芝居が好きな理由かも。そういう空間をつくれることが喜びだったりします。

僕は長時間の作品をつくるということに関してはベテランの域に達しているので（笑）、そこはみなさん、臆せず観に来ていただきたいです。この10時間の『グリークス』という作品と一緒に楽しんでいただけたらと思います！

●公演情報の詳細はスケジュール一覧（P.9）をご覧ください。